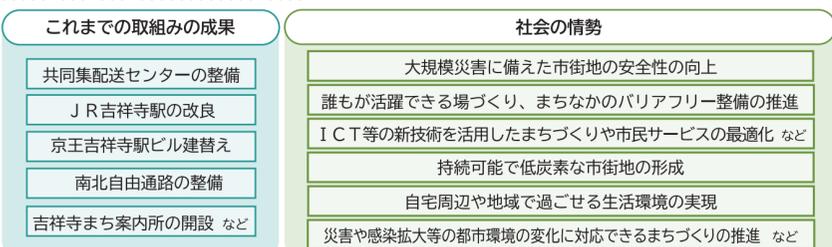


2. 「NEXT 吉祥寺 2021」の推進にあたっての課題認識等



課題認識

課題A “交通結節機能”と連携した駅周辺の交通体系の見直しと南口駅前広場の整備推進

これまでの取組みの成果である駅の改良事業や駅ビル建替え等で強化された“交通結節機能”と連携し、駅周辺の交通体系の見直しも含め、暫定供用や未整備となっている駅前広場整備を早期に進めていく必要があります。

- 南口駅前広場
- パークエリアの将来像
- 井の頭恩賜公園までのアクセシビリティ

課題B “境界性（吉祥寺の特性）”や“オープンスペース・緑”の価値向上・取組み強化

吉祥寺のまちづくりのテーマである“境界性”をステークホルダー間の連携で強めていくとともに、感染症の流行やICT技術の普及等を踏まえ、価値が高まっているオープンスペースや緑に関する取組みを推進していく必要があります。

- 東エリアのにぎわい
- 西エリアの交通環境
- 中央エリアの回遊性
- 快適な居場所づくり
- 附置義務駐車場の運用方針
- 公園や街路樹の緑の連続性

課題C 市街地の“安全性”向上（耐震化や不燃化の推進）

地震や風水害等の今後発生する恐れの高い大規模災害や感染症流行の脅威に備え、“強さとしなやかさ”を持った市街地を目指すとともに、高齢者や子育て世帯、外国人等の誰もが安心して歩きやすく、過ごしやすいまちなかとなるよう、施策を推進していく必要があります。

- 高経年建物の安全性
- まちなかのバリアフリー
- 駅周辺の環境浄化

課題D 誰もが何度でも訪れたい魅力的な市街地形成のための“ソフト施策”の推進と“まちづくり主体”の構築・各種団体との連携

「吉祥寺グランドデザイン 2020」で提示した“実践型のまちづくり”を推進していくため、吉祥寺駅周辺地区の各種団体と連携し、吉祥寺特有の文化資源やコンテンツの活用等のソフト施策についても、ハード施策と同輪で進めていく必要があります。

- 市内のコンテンツ（場所・人 など）
- エリアマネジメント

～吉祥寺をとりまくまちづくりの展望～

- ステークホルダー間の連携の必要性
- ステークホルダーの主体性を重んじたまちづくりの実現

4. 「NEXT 吉祥寺 2021」の推進方策

「吉祥寺グランドデザイン 2020」で共有した将来ビジョンの実現に向け、「3. まちづくりの戦略」で示した基本的な方針を推進するにあたっては、今後の社会情勢の変化に対応するとともに、ステークホルダー間での共有・連携を図っていく必要があります。

(1)ステークホルダー間の連携によるまちづくりの推進

今では当たり前の取組みとなっている、吉祥寺方式物流対策事業も事業化のきっかけは社会実験でした。「吉祥寺グランドデザイン 2020」に示すコンセプト実現のための3ステップ（STEP-1 一歩踏み出してみよう！、STEP-2 アイデアを実行してみよう！、STEP-3 次につなげよう！）に基づき、吉祥寺が抱える課題解決につながる社会実験の実施を視野に入れ、試行していくことが重要です。

今後10年の吉祥寺のまちづくりにあたり、ステークホルダー間の連携のもと、「重点的な取組み」、「重点的な取組みを支える市の取組み」を一体的に推進していきます。



「NEXT 吉祥寺 2021」に位置づけ、一体で推進

吉祥寺グランドデザイン 2020



「NEXT 吉祥寺 2021」の推進イメージ



(2)各種施策の進行管理

本計画に掲載している施策については、早期に着手できる施策から10年程度かけて実施できる施策等、それぞれの施策内容や社会情勢等に応じて、実現できる時期が異なります。

そのため、改定後5年が経過するタイミング（実行計画（前期）の経過時）で、将来の社会情勢の変化や関連法令の改正等の状況を踏まえた各施策の実施状況を点検・確認します。なお確認にあたっては、各種計画にある目標値等の進捗管理指標に基づき、行うこととします。

NEXT 吉祥寺 2021 本編については、市ホームページに掲載しています。
(http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/sesaku_keikaku/toshiseibibu/1033724.html)



NEXT 吉祥寺 2021

令和3年9月 編集：武蔵野市都市整備部吉祥寺まちづくり事務所

NEXT 吉祥寺 2021

武蔵野市 令和3年9月

概要版

1. 「NEXT 吉祥寺 2021」の位置づけ

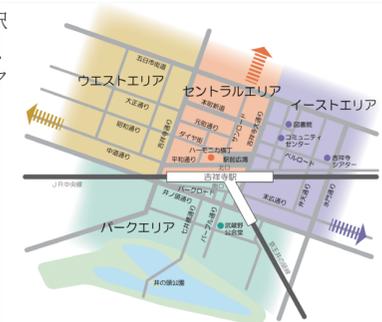
改定の目的

『進化するまち「NEXT-吉祥寺」プロジェクト-吉祥寺グランドデザイン推進計画-』の策定からおよそ10年が経過し、吉祥寺におけるまちの変化や新型コロナウイルス感染症の流行を含む社会情勢の変化、関連計画の策定や改定等、本市を取り巻く環境は変化しています。また、まちづくりについても複合的な課題が見られ、行政・地域住民・事業者等、吉祥寺のまちづくりに関わる様々な主体との連携がより一層求められています。

上記を踏まえ、令和2年4月に“吉祥寺のまちのコンセプトブック”として改定された「吉祥寺グランドデザイン 2020」で示された将来ビジョンの実現に向け、今後10年で進める取組みを明確にし、共有するため、改定を行います。

対象エリア、エリア区分

「吉祥寺グランドデザイン 2020」に定める吉祥寺駅を中心とした半径500メートルの範囲内を対象（以下、「吉祥寺駅周辺地区」という）とします。なお、エリア区分についても4つのエリアで考えることとします。



「NEXT 吉祥寺 2021」の位置づけ

「NEXT 吉祥寺 2021」は、「吉祥寺グランドデザイン 2020」を踏まえたまちづくりを推進していくため、上位計画にあたる「長期計画・調整計画」及び「都市計画マスタープラン」との整合性を図りつつ、今後10年のまちづくりの方策をまとめたものです。

また、10年間でまちづくりの推進にあたっては、5年ごとに2期で分け、実行計画（前期）・展望計画（後期）として示します。

